

動脈硬化の検査(血圧脈波検査)

ご予約ください

動脈硬化はさまざまな検査を通して総合的に診断されるものです。この検査はそのうちのひとつとして血管の硬さと詰まり具合を数字に表わし、ひとつの目安とするものです。

- ・検査は、ベッド上でおおむけに寝て、安静に行います
- ・両手両足の血圧を、同時に測定します
- ・検査時間は10分程度です
- ・痛みはほとんどありません

受診時の注意事項

- ・食事の影響はありません
- ・トイレは済ませておきましょう
- ・きついボディスーツやきつめのジーンズはご遠慮ください
- ・ズボンはやつたりしたタイプのほうが信頼性の高いデータが得られます
- ・靴下は脱いでいただきますが、ストッキングはかまいません
- ・厚手の上着やシャツは好ましくありません
- ・測定前に動悸が激しい場合には、落ち着くまでお待ちいただくことがあります
- ・頻繁な不整脈がある方や、手や足に浮腫がある方の場合には、医師の判断により検査できない場合がありますのでご了承ください
- ・その他ご心配な点については診察時に医師にご相談ください

検査で何がわかるのでしょうか？

血管の硬さと
血管の詰まり具合
がわかります

結果はグラフで表され、年齢ごとの平均値に照らし合わせて
およその **血管年齢** を読み取ることができます

大きく分けてPWVとABIとで表されます

血管の硬さ

PWV



血液が心臓から足首まで到達する速さで、血管が硬いほど血液は早く流れます

⇒ 血管が硬いほど値が高くなります

血管の詰まり具合

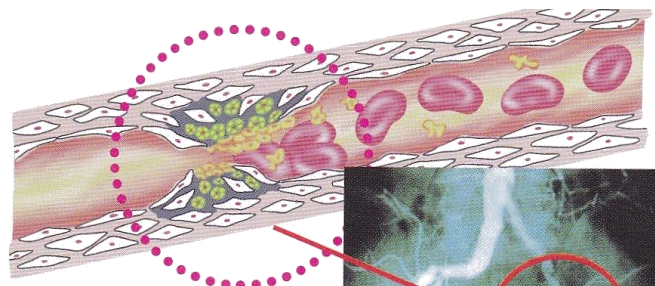
ABI



「上腕と足首の血圧の比」で、血管の狭くなっている程度がわかります
足の動脈がつまると血流が悪くなり、足首の血圧が上腕の血圧より低くなります

⇒ 足の動脈がつまると、ABIの値が低くなります

動脈硬化について



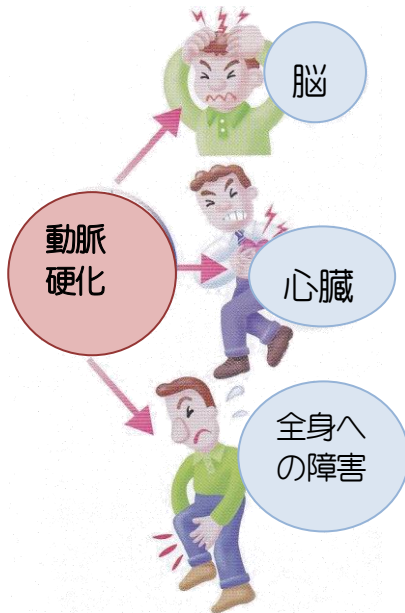
動脈硬化による粥状硬化

血管造影

加齢や生活習慣によって血管が硬くなってくると、血液や脂肪のかたまりが血管の内壁に着いて血管が狭くなって血流が悪くなったり、血流が途絶えてしまいます

動脈硬化は脳、心臓など体の重要な臓器をはじめ全身にさまざまな病気を引き起こします

動脈硬化をほおっておくと



脳出血（くも膜下出血）

脳の血管が破れてしまう病気

脳梗塞

脳の血管がつまってしまう病気

狭心症

心臓を取り巻く冠動脈が狭くなって起きる病気

心筋梗塞

心臓を取り巻く冠動脈の血流が止まる病気

閉塞性動脈硬化症

足の筋肉への血流が減り、歩くと痛むなどの症状がある病気
ひどくなると足先が腐ってしまうこともある

